

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【公表番号】特表2002-531415(P2002-531415A)

【公表日】平成14年9月24日(2002.9.24)

【出願番号】特願2000-584919(P2000-584919)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/145 (2006.01)

A 6 1 K 39/112 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/145

A 6 1 K 39/112

A 6 1 P 27/16

A 6 1 P 31/16

C 0 7 K 7/06 Z N A

C 0 7 K 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月28日(2006.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 経鼻投与のためのヒト合成ペプチドベースのインフルエンザ用ワクチンにおいて、それぞれサルモネラのフラゲリンから別個に発現したインフルエンザウイルスの少なくとも4種のエピトープを含有する鞭毛の混合物からなり、上記インフルエンザウイルスのエピトープはヒト細胞と反応性であって、(i) 1つのB-細胞ヘマグルチニン(HA)エピトープ；(ii) 1つのT-ヘルパーヘマグルチニン(HA)または多くのHLA分子に結合できる核タンパク質(NP)エピトープ；ならびに(iii) 異なるヒト集団において最も優勢なHLA分子に限定される少なくとも2つの細胞傷害性リンパ球(CTL)、核タンパク質(NP)またはマトリックスタンパク質(M)エピトープからなる群より選択されるインフルエンザワクチン。

【請求項2】 B-細胞HAエピトープは配列：

Ser-Lys-Ala-Phe-Ser-Asn-Cys-Tyr-Pro-

Tyr-Asp-Val-Pro-Asp-Tyr-Ala-Ser-Leu

のインフルエンザウイルスヘマグルチニンエピトープ91-108[HA 91-108]である「請求項1」記載のヒト経鼻投与用インフルエンザワクチン。

【請求項3】 T-ヘルパーエピトープは配列：

Pro-Lys-Tyr-Val-Lys-Gln-Asn-Thr-Leu-Lys-Leu-Ala-Thr

のインフルエンザウイルスヘマグルチニンエピトープ307-319[HA 307-319]および配列

Cys-Pro-Lys-Tyr-Val-Lys-Gln-Asn-Thr-Leu-

Lys-Leu-Ala-Thr-Gly-Met-Arg-Asn-Val

のHAエピトープ306-324[HA 306-324]から選択される「請求項1または2」記載のヒト

経鼻投与用インフルエンザワクチン。

【請求項4】 少なくとも2つの細胞傷害性リンパ球（CTL）のエピトープは配列

Ser-Ala-Ala-Phe-Glu-Asp-Leu-Arg-

Val-Leu-Ser-Phe-Ile-Arg-Gly-Tyr

のインフルエンザウイルス核タンパク質（NP）NP 335-350エピトープおよび配列

Glu-Leu-Arg-Ser-Arg-Tyr-Trp-

Ala-Ile-Arg-Thr-Arg-Ser-Gly

のNP 380-393 エピトープである「請求項1～3」のいずれかに記載のヒト経鼻投与用インフルエンザワクチン。

【請求項5】 サルモネラフラゲリン中で発現されたインフルエンザウイルスヘマグルチニンエピトープHA 91-108, ヘマグルチニンエピトープHA 307-319, 核タンパク質NP 335-350およびNP 380-393エピトープのエピトープ4種の混合物からなる「請求項1～4」のいずれかに記載のヒト経鼻投与用インフルエンザワクチン。

【請求項6】 少なくとも2種の細胞傷害性リンパ球（CTL）エピトープは、配列Asn-Val-Lys-Asn-Leu-Tyr-Glu-Lys-Val-LysのインフルエンザウイルスエピトープHA 458-467、およびそれぞれ配列

Ile-Leu-Gly-Phe-Val-Phe-Leu-Thr-Val,

Ile-Leu-Gly-Phe-Val-Phe-Leu-Thr-Val および

Ala-Cys-Ser-Met-Gly-Leu-Ile-Tyr

のマトリックスタンパク質（M）エピトープM 59-68, M 60-68およびM 128-135から選択される「請求項1～3」のいずれかに記載の非白色人種のためのヒト経鼻投与用インフルエンザワクチン。

【請求項7】 それぞれサルモネラのフラゲリンで別個に発現され、ヒト細胞と反応性であるインフルエンザウイルスの少なくとも4種のエピトープであり、（i）1つのB-細胞ヘマグルチニン（HA）エピトープ；（ii）1つのT-ヘルパーヘマグルチニン（HA）または多くのHLA分子に結合できる核タンパク質（NP）エピトープ；ならびに（iii）異なるヒト集団において最も優勢なHLA分子に限定される少なくとも2つの細胞傷害性リンパ球（CTL）、核タンパク質（NP）またはマトリックスタンパク質（M）エピトープからなる群より選択されるインフルエンザウイルスの少なくとも4種のエピトープを含有する鞭毛の混合物の、経鼻投与用ヒト合成インフルエンザワクチンの製造のための使用。

【請求項8】 それぞれサルモネラのフラゲリンで別個に発現され、ヒト細胞と反応性であるインフルエンザウイルスの少なくとも4種のエピトープ、すなわち、（i）1つのB-細胞ヘマグルチニン（HA）エピトープ；（ii）1つのT-ヘルパーヘマグルチニン（HA）または多くのHLA分子に結合できる核タンパク質（NP）エピトープ；ならびに（iii）異なるヒト集団において最も優勢なHLA分子に限定される少なくとも2つの細胞傷害性リンパ球（CTL）、核タンパク質（NP）またはマトリックスタンパク質（M）エピトープからなる群より選択されるインフルエンザウイルスの少なくとも4種のエピトープを含有する鞭毛の混合物からなる合成ペプチドベースのインフルエンザワクチンを有効成分として含有する医薬組成物であって、ヒト免疫応答を誘発し、ヒトにインフルエンザウイルスに対する防御機構を付与する医薬組成物。